文化の森てんえい　　令和7年5月VOL.108

図書室だより

TEL0248-82-2504　FAX0248-82-2127　天栄村教育委員会生涯学習課

【森の美術館】

今月は大里小学校の皆さんの作品です。

5.6年生「自然を感じるすてきな場所で」2年生「詩」の視写【展示風景】

3.4年生「絵の具でゆめもよう」　1年生「おたんじょうびれっしゃ」

今月のおすすめ本 【Y.Mさんおすすめ本】

『壬生義士伝』上・下　浅田次郎/著　文春文庫

幕末の京洛に活躍した新選組。出稼ぎ浪人たちの寄り合い所帯であった。その中の吉村貫一郎という無名の隊士が主人公。「苦難のない人生はない。その人生の中で、よし帰れずとも帰るべきところがふるさとである。」生き残った新選組の隊士は畏友吉村貫一郎の面影を慕って慙愧の涙を流す。そして父に殉じた伜の嘉一郎は、その末期の独り言にこう呟く。「わしは大好きな父上を、ひとりぼっちで北上川さ渡してしもうた。すたけァわしは、大好きな父上を、もいちど、ひとりぼっちで三途の川さ渡すわけにはいがねがんす」と。市内のどこからでも間近に望まれる岩手山は寡黙な父であり、北上の清らかな流れは母であり、吹き過ぎる風は友であると。伜の父への思い、父の家族への強い愛を描いた作品であります。

『カフネ』阿部暁子著　講談社

全国の書店員が「一番売りたい本」を投票で選ぶ、2025年の「本屋大賞」に阿部暁子さんの『カフネ』が選ばれました。この作品は最愛の弟が急死した主人公の女性が、弟の元恋人と出会う場面から始まります。すさんだ生活を送っていた女性が弟の元恋人が務めている家事代行サービス会社「カフネ」の仕事を手伝い、さまざまな人に出会う中で、徐々にみずからの人生を前向きに捉えていく姿が描かれています。おすすめです！！

《新着図書》

一般書	
■別れ道の二人	赤川次郎
■地雷グリコ	青崎有吾
■よむよむかたる	朝倉かすみ
■追跡	伊岡瞬
■楽園の楽園	伊坂幸太郎
■氾濫の家	佐野広実
■バタン島漂流記	西條奈加
■天までのぼれ	中脇初枝
■ヒポクラテスの困惑	中山七里
■蕎麦打ち万太郎	原宏一
■もしも豊臣秀吉がコンサルをしたら	眞邊明人
■カメオ	松永K三蔵
■世界99　上	村田沙耶香
■世界99　下	村田沙耶香
■ロスト7	真山仁
■本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む	かまどみくのしん
■生き抜く技術　31のラストメッセージ	森永卓郎
■大人ひとり旅のたのしみ方	主婦の友社
■はじめての『経理』	甲田拓也
■だます技術　金融犯罪対策センター	株式会社ラック
■元自衛官が語る災害派遣のリアル	武若雅哉
■地形のきほん	笹岡美穂
■身近にあるうまい雑草、ヤバイ毒草	森昭彦
■畑を休ませない12か月の家庭菜園ガイド	ブティック社

《新着図書》

一般書	
■るるぶ　ユニバーサルスタジオ・ジャパン公式ガイドブック	るるぶ情報版
■はたらく細胞　04	清水茜
■はたらく細胞　05	清水茜
■漫才過剰考察	令和ロマン高比良くるま
■歌集　ゆふすげ	美智子
■もの想う時、ものを書く	山田詠美
■抗がん剤を使わなかった夫	倉田真由美
■スタジオジブリ　いろんなくらし	徳間書店児童編集部
■人間になりたかった犬	今西乃子
■季節で綴るアイルランド　211	山下直子
■大人のための地学の教室	鎌田浩毅
■古きもので作る洋服と小物	吉田三世
■テレビプロデューサーひそひそ日記	北慎二
絵本・児童書	
■どっち？	まつおかたつひで
■おんぶねこ	殿本祐子
■まてないの	ヨシタケシンスケ
■夜の日記	ヴィーラ・ヒラナンダニ

◆おすすめ本を書いてみませんか◆

対象は「文化の森てんえい図書室」にある本です。掲載文字数は200文字程度。掲載者にはお礼の記念品を贈呈致します。皆さまのご応募お待ちしております‼(*'▽')